

友情ネットプロジェクト

秋本真吾先生「夢の叶え方」 ～講演会後の生徒感想から～

☆ 友情ネットプロジェクトは、東日本大震災後、「スポーツから福島の子供達を元気づけたい」と40社以上の企業が協力して始まった活動です。

今からちょうど10年前、その記念すべき1年目に、当時の只見中学校女子バレーボール部13名に技術・講話指導をしていただきました。

そして、今年から新たな展開としてアスリート選手による講演活動がスタート。また、記念すべき最初の年の実施校の1つに只見中学校が選ばれました。

ご縁を感じるとともに、ご尽力くださった只見コミュニティークラブの皆様、またプロジェクト発起人の日本製鉄株式会社 東北支店様、後援の福島県、福島県教育委員会、公益財団法人福島県体育協会の皆様にも感謝申し上げます。



「やったことのない人じゃん」、「努力の内容」、「当たり前+結果を嗜す」
「何の変化もない人 = 行動しない人」、「成功も失敗もその一瞬だけ」

《1年生》

- 自分は夢を少し諦めかけていました。ネガティブな言葉がくるのが怖かったからです。でも「努力、諦めない、続ける、がんばる」をすれば夢が叶うことが分かりました。
- 40歳になってあんなに体を動かし中学生よりも速く走っていてすごいと思った。秋本先生の「成功も失敗も一瞬だけ」という言葉が特に心に残った。
- 努力しても叶わないということはあるかもしれないけど、諦めずに挑戦し続けたいと思った。「結果を出さないといけない」という言葉がとても印象に残った。
- 結果から得た物は自分の実力につながっていくんだと感じました。その結果が成功でも失敗でも、それは一瞬のことであるので、あまり深く考えすぎないことが良いと思いました。これから先の人生で役立つお話ばかりだったので生かしていきたいと思います。

《2年生》

- 「夢」とは、諦めてはいけない目標だと思いました。
- 夢を叶えるために何を頑張ればいいのか、どういう心構えで臨めば良いかが分かりました。
- 失敗を悪い事と捉えるのではなく、失敗を次の改善点として捉えることができるよう次から意識したい。
- 少し前までは、「夢」とは思うものだったけれど、「努力しだいで変わるんだ」と勇気づけられ私にとって「夢」は叶えるものになりました。



《3年生》

- 他人からの評価が悪くても、自分がしたいことを信じて、夢に向かって努力し続けることが大事
- みんなが諦めず努力する「勉強」。目標は高いかもしれないけど自分にできる1つ1つを頑張りたい。
- 夢を叶えるためには、やっぱり「努力すること、頑張ること、あきらめないこと、続けること」だと思う。努力し続ければ必ず努力は報われるし、そうじゃなくても今後繋がるし、努力が習慣になれば、頑張っている人が評価される。
- 周りに何と言われても、自分の夢に向かって一生懸命頑張ろうと思いました。そして、周りの人の夢を笑うのではなく、支えてあげられるような人間になりたいと思いました。
- 世の中、ただ努力するだけではうまくいかないの、その努力をどう生かして結果に繋げるのか考えて生活していきたい。
- 自分はまだ夢を持っていないけど、人生にとって「夢」というものはとても大切なものだった。

